

三条市租税教育推進協議会長賞

みんなが安心して暮らすために

三条市立大島中学校 三年 高井 梨帆

私たちの暮らしの中には、たくさんの税金によって支えられているものがある。例えば、道路や公園などの設備、公共施設の建設、学校での教育、病院での医療など、様々なものに使われている。私たちが生活の中では普段あまり意識していないものにも税金は使われていて、税金は私たちの生活に必要不可欠だと感じる。

その中でも、私は社会保障をより充実させることが大切だと考へる。社会保障とは、病気や障がい、失業、老後などで生活の中で困難な状況になったときに支援を受けられる制度だ。日本国民が納めている税金の多くは、この社会保障の制度のために使われていると聞く。私がこの中でも特に重要視するべきだと思う事は、介護の支援です。近年の日本は高齢化が問題になっている。そのため、それを支える若者の負担が更に増えていくと考える。

昔、介護士が足りないという問題についてのニュースを見たことがある。介護士は重要な仕事にもかかわらず、低賃金や過ごくな労働環境、肉体的・精神的な負担などが原因で働く人が減っている。そのため、介護を必要とする人々が十分に支援を受けられない状況が続いている。このようなことから、私は、介護職の人たちをもっと支援すべきだと強く感じる。まず、介護職の賃金を上げることが必要だ。介護職は人の生活に深く関わる大切な

仕事だが、賃金が低いことが原因で働き手が不足している。この問題を解消するために税金を使って給与を増やし、もっと多くの人が介護職を目指すようになることが大切だ。

そして、私は、誰もが公平に生きていくための社会づくりが大切だと考える。私たちの社会では、さまざまな人々が生活している。身体的・精神的に支援が必要な人々や経済的に困難な状況にある人々がなるべく不自由なく生活するために、税金は使われている。だから、税金がどのように使われているかを意識し、すべての人々が平等に暮らすために将来、積極的に社会に貢献していくたい。

私は、税金はとても大切なものだと思う。税金によって社会は回っていて、なくてはならないものだ。ですが、税金は使い道によつて社会が変わっていく。だから、より良い使い方をして、たくさんの人々に役立つものになつてほしいと思う。私も将来、支える側にも支えられる側にもなると思うので、これからも関心を持つていきたい。